

ハレバレモンスターSTORY

第1章

プロローグ

久しぶりの登校。

しばらく会わなかったクラスメイトもほんの少し変わったような。

「おはようー！」

振り返り、口々に返してくれる声も何だか温かい気がする。

みんなと繋がっているようなそんな感覚。

ふと目をやると見慣れた自分の席の椅子に控えめなデザインの手紙が置かれている。

「えっラブレター？」

校門で一緒になった数人が興味津々といった様子で覗き込んでくる。

この夏を振り返って、そんな色恋なんてなかった、なんて自分で思い返している
とまた昨日の光景が甦る。

私にとって、みんなにとって、かけがえのない時間。

きっとこの先もあの日は大切な思い出として語るんだろうな。

そんな余韻を感じながら宛名を見た瞬間、胸騒ぎを覚えた。

なんだろう、なに？、どうしたの？何かあったの？

一瞬で色んな疑問が浮かんでは頭の中をいっぱいにしていく。

おそろおそろ手紙を開け、目を通すと、無意識のうちに足が校門へと駆け出していた。